

図書館だより 冬号

2019. 12. 9

発行：真岡北陵高校図書委員会



急に寒さが厳しくなってきましたね。こんなときには、こたつでみかん、そして、読書です。読書の季節といえば「秋」と思われがちですが、本はいつの季節でもどんな場所でも私たちを楽しませてくれる、素敵な友達です。肩ひじ張らず、気軽に読書を楽しみましょう♪



第2回 図書館イベント行います！



今回は百人一首のカルタ大会です。百人一首を覚えていなくても出られます！

勝者には、美味しい豪華商品アリ！！ぜひ、友だちと一緒に参加してね♪

12月19日(木) 放課後 15:50～16:50 場所 図書館

ここで、ちょっと紹介... 百人一首とは？

百人の優れた歌人の歌を、一首ずつ選んだ歌集のことです。歌を選んだのは、藤原定家（ふじわらのていか）。鎌倉時代の歌人・武士で、宇都宮氏五代当主の宇都宮賴綱（うつのみやよりつな）に頼まれて、藤原定家が小倉山で歌を百首選びました。だから、「百人一首」は「小倉百人一首」とも言われます。百人一首は、栃木県と縁が深いんですね。

図書委員 おすすめの一首...

人をもし 人もうらめし あぢきなく
世を思ふ故に もの思ふ身は

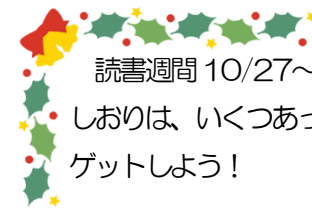
後鳥羽院

訳：あるときは人をいとおしく思う。そしてまたあるときは人を憎く恨めしく思う。つまり、ない世の中だと思いを巡らす私にとっては。

☆ 今年度の貸し出し ベスト5 ☆

1	浜村渚の計算ノートシリーズ	青 柳 碧 人
2	また、同じ夢を見ていた	住 野 よ る
3	その日、朱音は空を飛んだ	武 田 綾 之
4	愛なき世界	三 浦 しをん
5	鹿の王水底の橋	上 橋 菜穂子

本を借りる
ときの参考に
してみてね。



読書週間 10/27～11/16（金）を延長し、現在も本を借りた人にしおりをプレゼント中！！

しおりは、いくつあっても邪魔になりません！冬休みももう目前。本をたくさん借りて、しおりをゲットしよう！

☆ 読書コンシェルジュからのおすすめ本 ☆

『また、同じ夢を見ていた』 住野よる

『君の臍臓をたべたい』の著者が描いた、夢を見ているような気分になれる本。少し大人びた小学生「奈ノ花（なのか）」が中心となって、ありそうでない夢みたいな体験をし、本当の大人になった「奈ノ花」がこれからどんな人生を送るのか続きが気になってしまい、読み終わった後深いため息をついてしまうようなすてきな本です。（3-1 齋藤 芽依）

☆ 1年生の図書委員からのおすすめ本 ☆

『ヒトラーと第三帝国』 NHK取材班編

第二次世界大戦のドイツと聞いて、「アドルフ・ヒトラー」を連想する人は多くいるだろう。ヒトラーは「ナチス・ドイツ」を率いて、ヨーロッパ各地を支配しユダヤ人大虐殺を行うと宣言した男は、なぜドイツのトップとなったのか。歴史的な背景と冷静な分析で、ヒトラーの本性と、一人の人間としてのヒトラーが書かれた歴史本です。（1-1 S）

『余命10年』 小坂 流加

「あと10年しかいられないとしたら、あなたは何をしますか。」そんな問いかけから始まる切ない衝撃のラブストーリー。命の価値観が薄れている現代で命の尊さ、大切さをせつに問う感動作。涙なしでは語れない。あなたの価値観を大きく変えることになるでしょう。（1-2 A）

『天気の子』 新海 誠

高校1年の夏、帆高は離島から家出し、東京にやってきた。連日降り続ける雨の中、雑踏みしめく都会の片隅で、帆高は不思議な能力を持つ少女、陽菜に出会う。「ねえ、今から晴れるよ。」それは、祈るだけで空を晴れにできる能力だった。今年の夏、映画でも人気だった作品です。（1-3 K）

『星の王子様』 サンテグジュペリ

砂漠の真っ只中に不時着した飛行士の少年が、小さな星からやってきた王子様と出会います。王子様の語るエピソードには、砂漠の地下に眠る水のように、命の源が隠されています。生きる意味を問いつける永遠の名作の新訳です。

（1-3 K）



裏面は「司書だより」です。新着図書が紹介されていますよ～♪

